

東京外環自動車道  
草加地区耐震補強設計

特記仕様書

令和 6 年 6 月

東日本高速道路株式会社  
関東支社 三郷管理事務所

## 第1章 総則

### 1-1 適用

本特記仕様書は、東日本高速道路株式会社関東支社が実施する「東京外環自動車道 草加地区耐震補強設計」（以下「本業務」という。）に適用するものとする。

### 1-2 業務概要

1-2-1 調査等名 東京外環自動車道 草加地区耐震補強設計

1-2-2 道路名 東京外環自動車道

1-2-3 履行箇所 自) 埼玉県川口市西新井宿 [川口JCT (KP17.4)]  
至) 埼玉県八潮市八條 [三郷JCT (KP28.2)]

### 1-2-4 主な履行内容

設計種別	工種・細目・名称	数量	対象構造物
現地踏査		1式	
上部工構造設計	上部工改良構造形式比較表作成	8断面	本特記仕様書2-2-1に記載のとおり
	上部工・付属物軽量化構造比較表作成	3断面	本特記仕様書2-2-2に記載のとおり
	上部工改良設計	21連	本特記仕様書2-2-3に記載のとおり
橋梁耐震補強設計	既設橋梁動的解析	17橋	本特記仕様書2-3-3に記載のとおり
	耐震補強動的解析(レベル2地震動)	13橋	
	既設支承アンカー部橋座耐力照査	182箇所	
	橋脚耐震補強設計	83基	
	落橋防止構造物	140箇所	
	施工計画	9橋	
	設計打合せ	1式	
既存図面電子化		426枚	本特記仕様書2-3-13に記載のとおり

### 1-3 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

### 1-4 配置技術者の経験及び資格

本業務の管理技術者、現場作業責任者及び照査技術者（以下「配置技術者」という。）に求める経験及び資格は共通仕様書1-7、1-8、1-9によらず、入札公告（説明書）、見積方依頼書、基本契約条件書のいずれか（以下「入札公告等」という。）に示すとおりとする。なお、入札公告等に記載のない技術者は配置する必要がない。

### 1-5 配置技術者

共通仕様書1-11の規定によらず、次のとおりとする。入札前に競争参加資格申請書、参加表明書または技術提案書（以下「参加表明書等」とい

う。)を発注者に提出した調査等に当たっては、管理技術者、現場作業責任者または照査技術者は、参加表明書等の「配置予定管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者の経験及び能力の資格・実績等、成績等の記載欄」に記載した者を原則として契約期間中配置しなければならない。なお、死亡、傷病、退職、出産、育児等やむを得ない理由により、配置することが困難となった場合は、その理由及び別に配置する技術者の氏名、資格及び業務経験等を記載した書面を付して監督員の承諾を得なければならない。なお、監督員の承諾を得て新たに配置する技術者は、原則として下記の要件を満足する者でなければならない。

- (1) 当該業務の入札公告等にする「管理技術者、現場作業責任者、または照査技術者に求めた資格及び業務経験」と同等以上の資格及び業務経験を有する者。

ただし、入札手続にプロポーザル方式及び総合評価落札方式が適用された調査等に当たっては、参加表明書等に記載した各配置予定技術者について、評価結果と同等以上の資格及び業務経験を有する者。

- (2) 手持ち業務が当該業務の入札公告等で示されている場合は、手持ち業務件数及び金額を超えない者。

#### 1-6 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いは、監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名等	貸与予定日	備考
完成図面	全対象構造物	契約締結後貸与	電子データ (PDF)
設計報告書	全対象構造物	契約締結後貸与	電子データ (PDF)
設計報告書	三郷管理事務所管内 渋滞対策検討業務	契約締結後貸与	電子データ (PDF)

#### 1-7 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 の「受注者相互の協力」に示す、隣接または関連の調査等業務については、下表のとおりである。なお、履行期間中に関連調査等業務が増加した場合は、監督員の指示によるものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関
東京外環自動車道 幸魂橋耐震補強工事	令和5年2月21日～ 令和10年1月25日	五洋・青木あすなろ東京外環自動車道 幸魂橋耐震補強工事特定JV	当社
東京外環自動車道 美女木ジャンクションランプ 橋耐震補強工事	令和5年10月17日～ 令和9年10月25日	ショーボンド建設(株)	当社
東京外環自動車道 荒川第四橋検査路改良工事	未定	未定	当社

東京外環自動車道 草加地区段差防止構造設計	未定	未定	当社
東京外環自動車道 浦和地区段差防止構造設計	未定	未定	当社

#### 1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 に従って行う協議以外である。

また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を変更する場合がある。

##### (1)道路

位 置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
全調査区間	国道	国土交通省	施工時の	施工計画策定後
	県道	埼玉県	近接施工協議、交差	
	市道	川口市、草加市	協議を実施	

##### (2)電力、通信施設関係

位 置	路線・施設名	管理者名	協議完了時期	摘 要
全設計対象箇所	光通信ケーブル	東日本高速道路（株）	着手前迄	埋設及び添架
	メタル通信・電源 ケーブル			埋設及び添架

##### (3)交通管理者

道路及び位置	管理者名	協議完了時期	摘 要
全調査区間	一般国道 298 号	埼玉県蕨警察署 埼玉県朝霞警察署	

#### 1-9 計画工程表

##### 1-9-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1-14-1 に示す作業計画書の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

受注者は、完了時期の明示にあたって、発注者又は監督員が行う協議や共通仕様書 1-22 に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、計画工程表に記載するものとする。また、共通仕様書 1-9-4 に定める照査計画を盛り込むこととする。

なお、作業単位の設定は、次を標準とするが、計画工程表の提出にあたって監督員と受注者との協議のうえ、決定するものとする。

種 別	工 種	作業単位	備考
現地踏査		対象構造物毎	
上部工改良構造設計	上部工改良構造形式比較表作成		
	上部工・付属物軽量化構造比較表作成		

	上部工改良設計		
橋梁耐震補強設計	既設橋梁動的解析		
	耐震補強動的解析(レベル2地震動)		
	既設支承アンカー部橋座耐力照査		
	橋脚耐震補強設計		
	落橋防止構造物		
	施工計画		
	設計打合せ		
既存図面電子化			

#### 1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書1-2-2「打合せ」の実施時に、計画工程表に作業の実施状況を記載し、監督員に報告するとともに、調査等打合簿（共通仕様書様式第1-4号）に添付するものとする。

なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-2-9-1に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書1-1-4-3に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。

#### 1-1-0 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書1-2-2「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿（共通仕様書様式第1-4号）を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

また、調査等打合簿は電子メールによる伝達とし、受注者は受領欄に押印したうえで、発議者に電子メールで返送し、保管するものとする。

#### 1-1-1 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書1-4-3-1「工事記録情報」の規定に従って、「工事記録収集システム」へのデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに、「工事記録作成要領」にしたがって「工事記録情報 完了届」を監督員に提出し、その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。また、照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い、速やかに修正を行うものとする。

工事記録収集システムに関する問合せ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知するものとする。

#### 1-1-2 部分引渡しについて

本業務において、調査等請負契約書第3-8条「部分引渡し」に基づき、下記の指定部分の部分引渡しを行うものとする。

単価表の項目	対象橋梁	部分引渡し時期
上部工改良構造形式比較表作成	川口東高架橋（P13～P29）	令和7年6月
上部工・付属物軽量化構造比較表作成	赤芝新田高架橋（P29～P21）	
上部工改良設計	安行西高架橋（P22～P26）	

#### 1-1-3 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において、監督員及び受注者並びに予定工事の請負人が協働して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に

資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協働連絡会議（以下「三者協議会」という。）」を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員、予定工事の請負人および受注者との間で協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定する協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会の参加を義務付けるものではない。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は対象橋梁について、「設計要領第二集（橋梁保全編）」及び「更なる耐震補強の設計の進め方(参考資料)」に基づき設計条件を整理するとともに、当該地点の地形、地質等の条件において、既存橋梁の耐震性の確認を行い、その成果に基づき、施工性、経済性の観点から当該橋梁の耐震補強方法の選定、及びRC脚は詳細設計、鋼製脚は基本設計を行うものである。

また、耐震補強設計と併せて、川口東高架橋、赤芝新田高架橋、安行西高架橋、浦和東京線橋、安行東高架橋、新善高架橋（内外回り）は、現況内回り2車線、外回り2車線から付加車線を設置して内回り3車線、外回り3車線とするために現況の中央分離帯側の上部構造を改良する設計を実施する。

設計にあたっては、5-7-2「計画設計」、5-7-3「基本設計」、5-7-4「詳細設計」及び7-3「維持修繕設計」の適合項目を適用する。

### 2-2 上部工構造設計

#### 2-2-1 上部工改良構造形式比較表作成

上部工改良構造形式比較表作成とは、上部工が内外回りで分離する区間の構造選定するために現況内回り2車線、外回り2車線から付加車線を設置して内回り3車線、外回り3車線とした場合において、表-1に示す断面で表-2の上部工構造ごとに、概略の構造計算を実施して構造成立性、死活荷重増加量、経済性、施工性、施工日数、規制日数（本線、一般道）、総合評価を記載した比較表作成を行うものをいう。なお、付加車線設置後の道路規格は、第2種1級相当、設計速度80km、幅員構成は、表-3の通りとする。

上部工改良構造形式比較表作成の検測数量は、比較を実施した断面数（断面）とする。

表-1 検討断面数

検討断面数	検討対象区間	上部工形式	床版形式
1	川口東高架橋（P13～P27 橋脚） 新善高架橋（P79～P85）	鋼鈑桁	RC 床版
1	川口東高架橋（P27～P29 橋脚）	鋼箱桁	RC 床版
1	赤芝新田高架橋（P29～P7, P10～P19 橋脚）	鋼鈑桁	RC 床版
1	赤芝新田高架橋（P7～P10 橋脚）, 新善高架橋（P88～P91 橋脚）	鋼箱桁	鋼床版
1	赤芝新田高架橋（P19～P22 橋脚）	鋼箱桁	RC 床版
1	安行西高架橋（P36～P38 橋脚）	鋼鈑桁	RC 床版
1	浦和東京線橋（P50～P54 橋脚, P57～P61 橋脚） 新善高架橋（P85～P88 橋脚）	鋼鈑桁	RC 床版
1	浦和東京線橋（P54～P57 橋脚）	鋼箱桁	RC 床版

表-2 上部工構造

番号	上部工構造
①	上部工ブラケット（トラス形式、内外回り分離構造）＋上部工補強
②	上部工ブラケット（対傾構形式、内外回り連続化）＋上部工補強
③	上部工ブラケット（横げた形式、内外回り連続化）＋上部工補強

表-3 幅員構成

内回り（m）						外回り（m）			
路肩	付加車線	側帯相当幅	車線	側帯	分離帯	側帯	車線	側帯相当幅	路肩
0.5	3.0	0.25	3.25×2	0.25	1.0	0.25	3.25×2	0.25	0.5

### 2-2-2 上部工・付属物軽量化構造比較表作成

上部工・付属物軽量化構造比較表作成とは、本特記仕様書 2-2-1 表-2①の条件で、上部工ブラケット、遮音壁支柱、検査路を FRP 製、中分防護柵を鋼製として軽量化を図り付加車線を設置した場合の現付加車線を設置していない現況の状況から死活荷重増加量、軽量化した場合の上部工ブラケット・遮音壁・検査路の材料の市場流通性、実橋への適用事例の有無、取替工事費、工事期間、規制期間を表-4 に示す橋梁について対象比較表を作成するものである。

上部工・付属物軽量化構造比較表作成の検測数量は、比較を実施した断面数（断面）とする。

表-4 対象橋梁

検討断面数	検討対象区間	上部工形式	床版形式
1	赤芝新田高架橋（P29～P2 橋脚）	鋼鈑桁	RC 床版
1	赤芝新田高架橋（P7～P10 橋脚）	鋼箱桁	鋼床版
1	安行西高架橋（P19～P22 橋脚）	PC 箱桁	RC 床版

### 2-2-3 上部工改良設計

上部工改良設計とは、付加車線設置のために、本特記仕様書 2-2-1 表-2①の条件で上部工改良設計、既設主桁の補強設計、伸縮装置改良設計を実施するものをいう。

上部工改良設計の検測数量は、設計を実施した橋数（連）とする。

橋梁名	上部工形式	径間	床版形式	適用区分	項目名
川口東高架橋	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P13～P17	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P17～P19	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P19～P21	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P21～P24	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P24～P27	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P27～P29	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a

赤芝新田高架橋	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P29～P02	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 5 径間連続鈑桁橋	P02～P07	RC	基本となる設計	上部工改良設計 鈑桁 A-a
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P07～P10	鋼	基本となる設計	上部工改良設計 箱桁 A 1-a
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P10～P13	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P13～P16	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P16～P19	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E-a
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P19～P22	RC	基本となる設計	上部工改良設計 箱桁 A-a
安行西高架橋	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P36～P38	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E
浦和東京線橋	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P50～P54	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P54～P57	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 箱桁 E
	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P57～P61	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E
新善高架橋	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P79～P82	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P82～P85	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P85～P88	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E
	鋼 3 径間連続箱桁	P88～P91	RC	基本となる設計の修正	上部工改良設計 鈑桁 E

内訳書の項目の英字表記の次に示す数値の区分を以下のとおりとする。

上部工改良設計における 内訳書の項目の英字表記の次の表記	区 分
無表記	RC床板
1	鋼床版

また、設計区分に応じて、内訳書の項目末尾の表記を以下のとおりとする。

上部工改良設計における 内訳書の項目末尾の表記	区 分
無表記	計画設計
- a	基本設計

前記橋梁の床板張出長は以下のとおり。

橋梁名	上部工形式	径間	外回りの張出幅 (mm)	内外回りの離隔 (mm)	内回りの張出幅 (mm)
川口東高架橋	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P13～P17	1480	20	2050
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P17～P19	1480	20	2100
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P19～P21	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P21～P24	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P24～P27	1480	20	2100
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P27～P29	1480	20	2100



赤芝新田高架橋	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P29～P02	1480	20	2100
	鋼 5 径間連続鈑桁橋	P02～P07	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P07～P10	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P10～P13	1480	20	2100
	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P13～P16	1800	20	1800
	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P16～P19	1800	20	1800
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P19～P22	1800	20	1800
安行西高架橋	鋼 2 径間連続鈑桁橋	P36～P38	1480	0	2100
浦和東京線橋	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P50～P54	1430	20	2050
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P54～P57	1430	20	2050
	鋼 4 径間連続鈑桁橋	P57～P61	1430	20	2050
新善高架橋	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P79～P82	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P82～P85	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続鈑桁橋	P85～P88	1480	20	2100
	鋼 3 径間連続箱桁橋	P88～P91	1480	20	2100

## 2-3 橋梁耐震補強設計

### 2-3-1 適用すべき技術基準等

本業務で使用する技術基準は、共通仕様書 5-2-1 「適用すべき諸基準」に次を追加する。

名 称	出 展	発行年月	備 考
既設道路橋の耐震補強に関する参考資料	日本道路協会	平成 9 年 8 月	
既設道路橋基礎の補強に関する参考資料	日本道路協会	平成 12 年 2 月	
更なる耐震補強の設計の進め方（参考資料）	東日本高速道路(株)	平成 30 年 1 月	

### 2-3-2 耐震性能

本業務に適用する道路橋示方書、道路橋下部工構造設計指針及び設計で要求する耐震性能を以下に示す。

橋梁名	建設時	設計	備 考
川口東高架橋	道路橋示方書 昭和 5 5 年	道路橋示方書 平成 24 年	既設橋の耐震性能 2
赤芝新田高架橋			
安行西高架橋			
浦和東京線橋			
安行東高架橋			
新善高架橋			
草加 B P 高架橋			
草加高架橋			
旭町高架橋			
中根高架橋			
青柳高架橋			

「既設橋の耐震性能 2」とは国土交通省事務連絡（平成 24 年 12 月 18 日）に示される「耐震補強において目標とする橋の耐震性能のレベルの例とこれらに対する耐震性能の観点」における耐震性能 2 に相当する性能とする。

なお、本業務において段階施工を考慮する場合は、別途設計に要する費用について監督員と協議し定めるものとする。

### 2-3-3 設計構造物の内容

本業務における、既設構造物の形式等の内容は、下表のとおりである。

橋梁名	上下区分	適用道示	上部工	No.	下部工				基礎工
			構造形式		下部工 No.	高さ (m)	構造形式	耐震補強形式	構造形式
川口東高架橋	上下	S55	鋼 4 径間連続鈑桁橋 L=160.000m	1	P13	30.00	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				2	P14	28.90	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				3	P15	27.00	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				4	P16	25.70	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				5	P17	25.80	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼 2 径間連続鈑桁橋	5	P17	25.80	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				6	P18	24.00	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭

			L=70.000m	7	P19	21.20	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼2径間連続鈑桁橋 L=93.000m	7	P19	21.20	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				8	P20	19.00	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				9	P21	18.40	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=105.400m	9	P21	18.40	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				10	P22	17.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				11	P23	16.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				12	P24	15.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=114.300m	12	P24	15.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				13	P25	15.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				14	P26	14.80	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				15	P27	13.80	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼2径間連続箱桁橋 L=100.700m	15	P27	13.80	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				16	P28	13.20	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				17	P29	13.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
赤芝新田高架橋	上下	S55	鋼3径間連続鈑桁橋 L=139.500m	17	P29	13.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				18	P30	13.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				19	P1	13.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				20	P2	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼5径間連続鈑桁橋 L=195.000m	20	P2	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				21	P3	15.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				22	P4	15.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				23	P5	15.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				24	P6	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				25	P7	15.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続箱桁橋 L=195.500m	25	P7	15.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				26	P8	17.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				27	P9	16.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				28	P10	16.00	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=117.000m	28	P10	16.00	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				29	P11	14.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				30	P12	14.20	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				31	P13	14.20	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=117.000m	31	P13	14.20	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				32	P14	13.80	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				33	P15	13.60	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				34	P16	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼2径間連続鈑桁橋 L=93.700m	34	P16	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				35	P17	13.20	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				36	P19	13.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続箱桁橋 L=130.400m	36	P19	13.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				37	P20	13.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				38	P21	13.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				39	P22	14.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭

安行西高架橋	上下	S55	PC4 径間連続箱桁橋 L=135.000m	39	P22	14.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				40	P23	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				41	P24	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				42	P25	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				43	P26	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC4 径間連続箱桁橋 L=140.000m	43	P26	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				44	P27	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				45	P28	14.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				46	P29	14.20	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				47	P30	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC3 径間連続箱桁橋 L=131.51m	47	P30	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				48	P31	15.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				49	P32	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				50	P33	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC3 径間連続箱桁橋 L=105.00m	50	P33	14.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				51	P34	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				52	P35	15.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				53	P36	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼2径間連続鈑桁橋 L=63.000m	53	P36	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				54	P37	14.20	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				55	P38	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC6 径間連続箱桁橋 L=201.000m	55	P38	14.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				56	P39	13.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				57	P40	13.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				58	P41	13.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				59	P42	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				60	P43	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				61	P44	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC6 径間連続箱桁橋 L=201.000m	61	P44	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				62	P45	13.20	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				63	P46	13.20	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				64	P47	13.20	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				65	P48	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				66	P49	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				67	P50	13.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
浦和東京線橋	上下	S55	鋼4径間連続非合成 鈑桁橋 L=140.000m	67	P50	13.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				70	P51	14.28	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				71	P52	16.14	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				72	P53	17.40	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				73	P54	19.36	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続非合成 箱桁橋 L=178.000m	73	P54	19.36	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				74	P55	19.96	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				75	P56	20.65	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				76	P57	20.09	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭

			鋼4径間連続非合成 鈑桁橋 L=140.000m	76	P57	20.09	単柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				77	P58	18.30	単柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				78	P59	17.20	単柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				79	P60	15.60	単柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				80	P61	15.78	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
安行東高架橋	上下	S55	PC4径間連続箱桁橋 L=126.000m	80	P61	15.78	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				81	P62	16.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				82	P63	16.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				83	P64	16.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				84	P65	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC4径間連続箱桁橋 L=126.000m	84	P65	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				85	P66	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				86	P67	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				87	P68	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				88	P69	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC3径間連続箱桁橋 L=129.200m	88	P69	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				89	P70	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				90	P71	13.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				91	P72	14.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC4径間連続箱桁橋 L=136.000m	91	P72	14.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				92	P73	14.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				93	P74	14.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				94	P75	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				95	P76	13.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			PC3径間連続箱桁橋 L=100.729m	95	P76	13.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				96	P77	14.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				97	P78	14.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				98	P79	13.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
新善高架橋	上下	S55	鋼3径間連続鈑桁橋 L=111.000m	98	P79	13.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				99	P80	13.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				100	P81	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				101	P82	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=129.500m	101	P82	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				102	P83	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				103	P84	13.00	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				104	P85	13.00	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=97.500m	104	P85	13.00	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				105	P86	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				106	P87	13.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				107	P88	13.60	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続箱桁橋 L=168.000m	107	P88	13.60	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				108	P89	14.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				109	P90	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				110	P91	13.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭

			鋼3径間連続鈑桁橋 L=105.000m	110	P91	13.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				111	P92	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				112	P93	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				113	P94	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=105.000m	113	P94	13.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				114	P95	13.20	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				115	P96	13.20	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				116	P97	13.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=104.829m	116	P97	13.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				117	P98	13.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				118	P99	13.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				119	P100	13.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
草加B P橋	上下	S55	鋼3径間連続鈑桁橋 L=105.000m	119	P100	13.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				120	P101	17.78	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				121	P102	16.43	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				122	P103	17.31	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=120.000m	122	P103	17.31	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				123	P104	19.28	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				124	P105	19.83	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				125	P106	18.09	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=105.000m	125	P106	18.09	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				126	P107	17.68	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				127	P108	16.35	单柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				128	P109	16.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
草加高架橋	上下	S55	鋼3径間連続鈑桁橋 L=97.500m	128	P109	16.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				129	P110	15.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				130	P111	15.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				131	P112	16.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=97.500m	131	P112	16.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				132	P113	17.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				133	P114	17.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				134	P115	16.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=103.964m	134	P115	16.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				135	P116	16.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				136	P117	17.00	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				137	P118	16.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=97.500m	137	P118	16.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				138	P119	16.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				139	P120	16.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				140	P121	16.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=97.500m	140	P121	16.60	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				141	P122	16.80	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				142	P123	17.40	单柱式橋脚	—	場所打ち杭
				143	P124	16.60	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭

			鋼2径間連続鈑桁橋 L=95.500m	144	P124	16.60	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				145	P125	16.20	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				146	P126	16.30	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=70.000m	146	P126	16.30	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				147	P127	16.00	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				148	P128	16.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼2径間連続鈑桁橋 L=102.200m	148	P128	16.40	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				149	P129	16.60	ラーメン式橋脚	—	場所打ち杭
				150	P130	17.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				151	P131	17.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
旭町高架橋	上下	S55	鋼4径間連続鈑桁橋 L=140.000m	152	P136	18.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				153	P137	18.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				154	P138	18.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				155	P139	19.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				156	P140	18.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続鈑桁橋 L=102.450m	156	P140	18.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				157	P141	19.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				158	P142	18.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
中根高架橋	上下	S55	鋼4径間連続非合成 鈑桁橋 L=144.00m	160	P144-3	14.80	単柱式橋脚	—	ケーソン基礎
				161	P145	16.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				162	P146	16.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				163	P147	16.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				164	P148	16.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続非合成 鈑桁橋 L=114.04m	164	P148	16.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				165	P149	16.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				166	P150	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				167	P151	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼4径間連続非合成 鈑桁橋 L=144.00m	167	P151	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				168	P152	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				169	P153	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				170	P154	15.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				171	P155	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続非合成 鈑桁橋 L=111.000m	171	P155	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				172	P156	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				173	P157	15.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				174	P158	14.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼3径間連続非合成 鈑桁橋 L=148.000m	174	P158	14.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				175	P159	14.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				176	P160	14.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				177	P161	15.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭

青柳高架橋	上下	S55	鋼 3 径間連続鈑桁橋 L=120.000m	178	P188	15.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				179	P189	15.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				180	P190	15.00	単柱式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				181	P191	15.00	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
			鋼 3 径間連続鈑桁橋 L=85.000m	181	P191	15.00	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
				182	P192	15.60	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
				183	P193	15.40	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
				184	P194	14.20	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
			鋼 3 径間連続箱桁橋 L=188.000m	184	P194	14.20	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
				185	P195	14.40	単柱式橋脚（鋼製）	—	鋼管矢板
				186	P196	14.00	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				187	P197	13.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼 4 径間連続鈑桁橋 L=135.000m	187	P197	13.60	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				188	P198	14.40	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				189	P199	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				190	P200	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				191	P201	14.30	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
			鋼 2 径間連続箱桁橋 L=100.600m	191	P201	14.30	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				192	P202	13.30	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				193	P203	13.30	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼 2 径間連続鈑桁橋 L=77.200m	193	P203	13.30	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				194	P204	14.00	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				195	P205	13.70	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼 2 径間連続鈑桁橋 L=77.200m	195	P205	13.70	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				196	P206	14.20	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				197	P207	13.60	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
			鋼 3 径間連続鈑桁橋 L=90.000m	197	P207	13.60	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				198	P208	14.80	単柱式橋脚	—	場所打ち杭
				199	P209	14.60	ラーメン式橋脚（鋼製）	—	場所打ち杭
				200	P210	14.20	単柱式橋脚	—	場所打ち杭

現地踏査、設計条件整理等により、上記設計条件が変更となり、当時の設計基準により再現設計が必要となった場合には、別途監督員と協議するものとし、その費用について別途協議するものとする。

#### 2-3-4 現地踏査

現地踏査は、耐震補強設計及び撤去検討に必要な現地の状況を把握するものとする。

なお、貸与する既存の資料等と現地状況とに相違がある場合は、速やかに監督員に報告するものとする。

現地踏査の検測数量は、一式する。



## 2-3-5 橋梁耐震補強設計 既設橋梁動的解析

橋梁耐震補強設計 既設橋梁動的解析とは、非線形動的解析により既設橋の動的耐震診断を行うことをいい、レベル2地震動における動的解析により行うものとする。なお、動的解析結果による基礎の照査結果も含むものとする。対象橋梁は下表のとおりである。また、2-2-3 上部工改良設計の対象橋梁は、付加車線設置の上部工の荷重条件で動的解析を実施するものとする。

橋梁耐震補強設計 既設橋梁動的解析の検測数量は、動的解析を行った上部工連数（橋）とする。

橋梁名	対象箇所	上下区分	上部工形式	下部工形式	解析モデル	数量 (橋)	備考
川口東高架橋	P13～P17	上下	鋼4径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚	3次元	1	基準橋
	P17～P19		鋼2径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P19～P21		鋼2径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P21～P24		鋼3径間連続箱桁橋	ラーメン式橋脚 単柱式橋脚			
	P24～P27		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P27～P29		鋼2径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚 単柱式橋脚			
赤芝新田高架橋	P29～P2	上下	鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P2～P7		鋼5径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P7～P10		鋼3径間連続箱桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3次元	1	基準橋
	P10～P13		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P13～P16		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P16～P19		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚 単柱式橋脚			
	P19～P22		鋼3径間連続箱桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
安行西高架橋	P22～P26	上下	PC4径間連続箱桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P26～P30		PC4径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P30～P33		PC3径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P33～P36		PC3径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P36～P38		鋼2径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚			
	P38～P44		PC6径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P44～P50		PC6径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
浦和東京線橋	P50～P54	上下	鋼4径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P54～57		鋼3径間連続非合成箱桁橋	単柱式橋脚			
	P57～P61		鋼4径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
安行東高架橋	P61～P65	上下	PC4径間連続箱桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P65～P69		PC4径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P69～P72		PC3径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P72～P76		PC4径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P76～P79		PC3径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			

新善高架橋	P79～P82	上 下	鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3 次元	1	基準橋
	P82～P85		鋼 3 径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P85～P88		鋼 3 径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P88～P91		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P91～P94		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P94～P97		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P97～P100		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
草加 BP 高架橋	P100～P103	上 下	鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P103～P106		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P106～P109		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
草加高架橋	P109～112	上 下	鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P112～P115		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P115～P118		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P118～P121		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P121～P124		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3 次元	1	基準橋
	P126～P128		鋼 2 径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P128～P131		鋼 3 径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚 単柱式橋脚			
旭町高架橋	P136～P140	上 下	鋼 4 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P140～P143		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
中根高架橋	P144～3～P148	上 下	鋼 4 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P148～P151		鋼 3 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P151～P155		鋼 4 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P155～P158		鋼 3 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P158～P161		鋼 3 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
青柳高架橋	P188～P191	上 下	鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P191～P194		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P194～P197		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P197～P201		鋼 4 径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P201～P203		鋼 2 径間連続箱桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3 次元	1	基準橋

なお、浦和東京線橋にて作成する解析モデルは下記の作成条件を設けるものとする。

【解析モデルの作成条件】

- ① 函型擁壁（函体構造）は、剛体フーチングとし、中抜き重量は控除する。
- ② U 型擁壁は、側壁をモデル化せず剛体フーチングとする。
- ③ 杭はフーチング下面中心に集約バネとしてモデル化する。
- ④ 橋梁を支持しない U 型擁壁、函体構造部は、モデル化しない。

【解析条件】

- ① 基礎の条件は、バネモデルと固定モデルの 2 ケースで、対象橋梁の動的解析を実施する。なお、上記に記載のない解析モデルの詳細は別途監督員と協議して決定することとする。
- ② フーチングが函渠構造の橋脚、（フーチングに擁壁構造を有する橋脚）、函渠のない充実断面（重

量は函渠構造、外形寸法は、実橋と同寸法) のフーチング、擁壁構造のモデル化をせず動的解析を実施することとし、フーチングの耐震性能照査は実施しない。

## 2-3-6 橋梁耐震補強 耐震補強動的解析 (レベル2地震動)

耐震補強動的解析 (レベル2地震動) とは、非線形動的解析により補強後のレベル2地震動に対する動的耐震診断を行うことをいい、対象橋梁は下表のとおりである。非線形動的解析に使用する入力地震波、解析方向、モデルの設定方法、解析手法等は、本特記仕様書2-3-5「橋梁耐震補強設計 既設橋梁動的解析」に準じるものとし、解析結果による基礎の照査を含むものとする。

耐震補強動的解析 (レベル2地震動) の検測数量は、動的解析を行った当該橋梁・高架橋全体を一橋として検測する。

橋梁名	対象箇所	上下区分	上部工形式	下部工形式	解析モデル	数量(橋)	備考
川口東高架橋	P13～P17	上下	鋼4径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚	3次元	1	基準橋
	P17～P19		鋼2径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P19～P21		鋼2径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P21～P24		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚 単柱式橋脚			
安行西高架橋	P36～P38	上下	鋼2径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	2次元	1	基準橋
浦和東京線橋	P50～P54	上下	鋼4径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P54～P57		鋼3径間連続非合成箱桁橋	単柱式橋脚			
	P57～P61		鋼4径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
新善高架橋	P79～P82	上下	鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3次元	1	基準橋
	P82～P85		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P85～P88		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚			
	P94～P97		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P97～P100		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
草加BP高架橋	P100～P103	上下	鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P103～P106		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P106～P109		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
草加高架橋	P109～P112	上下	鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P112～P115		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P115～P118		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P118～P121		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P121～P124		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3次元	1	基準橋
	P126～P128	上下	鋼2径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚	3次元	1	基準橋
	P128～P131		鋼3径間連続鈑桁橋	ラーメン式橋脚 単柱式橋脚			
旭町高架橋	P136～P140	上下	鋼4径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋
	P140～P143		鋼3径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
中根高架橋	P144-3～P148	上下	鋼4径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚	2次元	1	基準橋

	P148～P151		鋼 3 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P151～P155		鋼 4 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P155～P158		鋼 3 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P158～P161		鋼 3 径間連続非合成鈑桁橋	単柱式橋脚			
青柳高架橋	P188～P191	上下	鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚	2 次元	1	基準橋
	P191～P194		鋼 3 径間連続鈑桁橋	単柱式橋脚			
	P194～P197		鋼 3 径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P197～P201		鋼 4 径間連続箱桁橋	単柱式橋脚			
	P201～P203		鋼 2 径間連続箱桁橋	単柱式橋脚 ラーメン式橋脚	3 次元	1	基準橋

## 2-3-7 橋梁耐震補強設計 既設支承アンカー部橋座耐力照査

既設支承アンカー部橋座耐力照査は、設計要領第二集（橋梁建設編）5章2-6「橋座部の設計」に基づき、橋座部が支承部等からの水平力に対して十分な耐力を有するか照査するものである。

当該項目の中には、現況の橋座部の構造状況の把握、照査条件の整理、橋座部耐力照査、結果とりまとめを含むものとし、照査の結果、既設支承アンカー部の橋座耐力が不足する場合は、橋座耐力を確保するための補強設計を追加する場合がある。この補強設計に要する費用については、受注者と監督員で協議を行い決定するものとする。

既設支承アンカー部橋座耐力照査の検測数量は、照査を行った支承線の箇所数（箇所）とする。

橋梁名	上下 区分	下部工 No	数量 (箇所)	備 考
川口東高架橋	上下	P13（終点側）, P14, P15, P16, P17（起点側・終点側）, P18, P19（起点側・終点側）, P20, P21（起点側）	22	上り 9 1 箇所 下り 9 1 箇所
安行西高架橋		P37	2	
浦和東京線橋		P51, P52, P53, P54（起点側・終点側）, P55, P56, P57（起点側・終点側）, P58, P59, P60, P61（起点側）	26	
新善高架橋		P80, P81, P83, P84, P86, P87, P92, P93, P95, P96, P98, P99	24	
草加 B P 橋		P101, P102, P103（起点側・終点側）, P104, P105, P106（起点側・終点側）, P107, P108	20	
草加高架橋		P110, P111, P113, P114, P116, P117, P119, P120, P122, P123, P127, P129, P130	26	
旭町高架橋		P137, P138, P139, P141, P142	10	
中根高架橋		P145, P146, P147, P149, P150, P152, P153, P154, P156, P157, P159, P160	24	
青柳高架橋		P189, P190, P191（起点側・終点側）, P192, P193, P194（起点側・終点側）, P195, P196, P198, P199, P200, P202	28	

## 2-3-8 橋梁耐震補強設計 橋脚耐震補強設計

橋脚耐震補強設計とは、本特記仕様書 2-3-1「適用すべき技術基準等」に示す耐震基準に

対する照査または耐震基準を満足する補強方法等による細部構造の設計等、施工に必要な全ての設計をいい、対象橋脚並びに共通仕様書 5-7-6「類似構造物の取扱いによる設計区分」は下表のとおりとする。ただし、仮設構造物等で特に図面を要する場合の費用については、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。

橋脚耐震補強設計の検測数量は、耐震補強設計を行った橋脚数（基）とする。

【設計内容】

対象橋梁	上下区分	橋脚 No.	高さ (m)	支承条件	構造形式	非対称の有無	類似区分	関連する内訳書の項目
川口東高架橋	上下	P13	30.0	H	鋼製ラーメン式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 A 2
		P14	28.9	H	鋼製ラーメン式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 C 2
		P15	27.0	H	鋼製ラーメン式橋脚	無	B	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 B 2
		P16	25.7	H	鋼製ラーメン式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 D 2
		P17	25.8	F	鋼製ラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 A 2-I
		P18	24.0	M	鋼製ラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 A 2-I
		P19	21.2	MF	鋼製ラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 A 2-I
		P20	19.0	M	鋼製ラーメン式橋脚	有	B	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 B 2-I
		P21	18.4	MM	鋼製ラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 A 2-I
安行西高架橋	上下	P37	14.2	M	鋼製ラーメン式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式 A 2
浦和東京線橋	上下	P51	14.2	M	鋼製単柱式橋脚	無	B	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 B-a
		P52	16.1	F	鋼製単柱式橋脚	無	B	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 B-a
		P53	17.4	M	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
		P54	19.3	MM	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a
		P55	19.9	F	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
		P56	20.6	F	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A1-a
		P57	20.1	MM	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A1-a
		P58	18.3	M	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a
		P59	17.2	F	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a
		P60	15.6	F	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
新善高架橋	上下	P80	13.0	F	RC単柱式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 C-a
		P81	13.4	F	RCラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 A 2-I
		P83	13.4	F	RCラーメン式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 C 2
		P84	13.0	F	RCラーメン式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 C 2
		P86	13.4	F	RCラーメン式橋脚	有	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 C 2-I
		P87	13.4	F	RCラーメン式橋脚	有	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 C 2-I
		P92	13.4	F	RC単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a
		P93	13.4	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P95	13.2	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P96	13.2	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P98	13.0	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P99	13.0	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a

草加 B P 橋	上下	P101	17.78	F	鋼製単柱式橋脚	無	B	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 B-a
		P102	16.4	F	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
		P103	17.3	MM	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
		P104	19.2	F	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
		P105	19.8	F	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a
		P106	18.1	MM	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a
		P107	17.7	F	鋼製単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 D-a
		P108	16.3	F	鋼製単柱式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 C-a
草加高架橋	上下	P110	15.0	F	RC単柱式橋脚	無	B	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 B-a
		P111	15.0	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P113	17.0	F	RC単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a
		P114	17.0	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P116	16.4	F	RC単柱式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 C-a
		P117	17.0	F	RC単柱式橋脚	無	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 C-a
		P119	16.6	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P120	16.6	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P122	16.8	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P123	17.4	F	RC単柱式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a-I
		P127	16.0	F	RCラーメン式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 D 2-I
		P129	16.4	F	RCラーメン式橋脚	有	B	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 ラーメン式 B 2-I
		P130	17.0	F	RC単柱式橋脚	有	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 C-a-I
旭町高架橋	上下	P137	18.8	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P138	18.4	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P139	19.0	F	RC単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a
		P141	19.0	F	RC単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a
		P142	18.8	F	RC単柱式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a-I
中根高架橋	上下	P145	16.2	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P146	16.4	F	RC単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a
		P147	16.2	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P149	16.0	F	RC単柱式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a-I
		P150	15.8	F	RC単柱式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a-I
		P152	15.8	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P153	15.8	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P154	15.8	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P156	15.6	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P157	15.4	F	RC単柱式橋脚	無	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a
		P159	14.4	F	RC単柱式橋脚	有	B	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 B-a-I
		P160	14.4	F	RC単柱式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 D-a-I
青柳高架橋	上下	P189	15.2	F	RC単柱式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式 A-a-I
		P190	15.0	F	鋼製単柱式橋脚	有	C	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 C-a-I
		P191	15.0	MM	鋼製単柱式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a-I
		P192	15.6	F	鋼製単柱式橋脚	無	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式 A-a

	P193	15.4	F	鋼製単柱式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式D-a-I
	P194	14.2	MM	鋼製単柱式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 単柱式D-a-I
	P195	14.4	F	RC単柱式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式A-a-I
	P196	14.0	F	RC単柱式橋脚	有	D	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式D-a-I
	P198	14.4	F	RC単柱式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式A-a-I
	P199	14.2	F	RC単柱式橋脚	有	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式C-a-I
	P200	14.2	F	RC単柱式橋脚	有	C	橋脚耐震補強設計 RC橋脚 単柱式C-a-I
	P202	13.3	F	鋼ラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式A2-I
	P203	13.3	MM	鋼ラーメン式橋脚	有	A	橋脚耐震補強設計 鋼製橋脚 ラーメン式A2-I

なお、橋脚耐震補強設計では、橋脚の各構造形式における設計高の基準長に応じて、内訳書の項目の英字表記の次に示す数値の区分を以下のとおりとする。

橋梁耐震補強設計における 内訳書の項目の英字表記の次の表記	区 分
無表記	設計高が基準長の下限を超える場合
1	設計高が基準長の範囲内
2	設計高が基準長の上限を超える場合

橋脚の張出し構造の有無に応じて、上記内訳名称の次に示す表記を以下のとおりとする。

橋梁耐震補強設計における 内訳書の項目の表記	区 分
無表記	橋脚の張出し構造無し
- a	橋脚の張出し構造有り

橋脚の対称性の有無に応じて、上記名称の末尾表記は以下に示すとおりとする。

橋梁耐震補強設計における 内訳書の項目末尾の表記	区 分
無表記	橋脚構造が対称（上表記の“無”）
- I	橋脚構造が非対称（上表記の“有”）

## 2-3-9 橋梁耐震補強設計 落橋防止構造物

共通仕様書7-3-3に規定する設計内容については、下表のとおりとする。

落橋防止構造の検測数量は、一箇所とする。

なお、設計作用反力が異なる場合の区分変更は監督員と協議できるものとする。

橋梁名	上下 区分	下部工 No	数量 (箇所)	設計 区分	適用区分	内訳書の項目	備考
川口東高架橋	上	P13（終点側）, P17（終点側）, P19（終点側）	3	詳細 設計	基本となる設計	落橋防止構造物A	
		P17（起点側）, P19（起点側）, P21（起点側）	3		基本となる設計を準用	落橋防止構造物B	
	下	P13（終点側）, P17（起点側・終点側）, P19（起点側・終点側）, P21（起点側）	6	詳細 設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物C	
安行西高架橋	上	P36（終点側）	1	詳細 設計	基本となる設計	落橋防止構造物A	
		P38（起点側）	1		基本となる設計を準用	落橋防止構造物B	

	下	P36 (終点側), P38 (起点側)	2	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
浦和東京線 高架橋	上	P50 (終点側), P54(終点側), P57 (終点側)	3	詳細設計	基本となる設計	落橋防止構造物 A	
		P54(起点側), P57 (起点側), P61 (起点側)	3		基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P50 (終点側), P54(起点側・終点側), P57 (起点側・終点側) P61 (起点側)	6	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
新善高架橋	上	P79(終点側), P82(終点側), P85(終点側), P91(終点側), P94(終点側), P97(終点側)	6	詳細設計	基本となる設計	落橋防止構造物 A	
		P82(起点側), P85(起点側), P88(起点側), P94(起点側), P97(起点側), P100(起点側)	6		基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P79(終点側), P82(起点側・終点側), P85(起点側・終点側), P91(起点側・終点側), P94(起点側・終点側), P97(起点側・終点側), P100(起点側)	12	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
草加 B P 橋	上	P100(終点側), P103 (終点側), P106 (終点側)	3	詳細設計	基本となる設計	落橋防止構造物 A	
		P103 (起点側), P106 (起点側), P109 (起点側)	3		基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P100(終点側), P103 (起点側・終点側), P106 (起点側・終点側), P109 (起点側)	6	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
草加高架橋	上	P109(終点側), P112(終点側), P115(終点側), P118(終点側), P121(終点側), P126(終点側), P128(終点側),	7	詳細設計	基本となる設計	落橋防止構造物 A	
		P112(起点側), P115(起点側), P118(起点側), P121(起点側), P124(起点側), P128(起点側), P131(起点側),	7		基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P109(終点側), P112(起点側・終点側), P115(起点側・終点側), P118(起点側・終点側), P121(起点側・終点側), P124(起点側), P126(終点側), P128(起点側・終点側), P131(起点側)	14	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
旭町高架橋	上	P136(終点側), P140(終点側)	2	詳細設計	基本となる設計	落橋防止構造物 A	
		P140(起点側), P143(起点側)	2		基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P136(終点側), P140(起点側・終点側), P143(起点側)	4	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
中根高架橋	上	P144-3(終点側), P148(終点側), P151	5	詳細	基本となる設計	落橋防止構造物 A	



		(終点側), P155 (終点側), P158 (終点側)	5	設計			
		P148 (起点側), P151 (起点側), P155 (起点側), P158 (起点側), P161 (起点側)			基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P144-3 (終点側), P148 (起点側・終点側), P151 (起点側・終点側), P155 (起点側・終点側), P158 (起点側・終点側), P161 (起点側)	10	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	
青柳高架橋	上	P188 (終点側), P191 (終点側), P194 (終点側), P197 (終点側), P201 (終点側)	5	詳細設計	基本となる設計	落橋防止構造物 A	
		P191 (起点側), P194 (起点側), P197 (起点側), P201 (起点側), P203 (起点側)	5		基本となる設計を準用	落橋防止構造物 B	
	下	P188 (終点側), P191 (起点側・終点側), P194 (起点側・終点側), P197 (起点側・終点側), P201 (起点側・終点側), P203 (起点側)	10	詳細設計	基本となる設計を適用	落橋防止構造物 C	

## 2-3-10 落橋防止装置等の設計図書における溶接種別の明確化等

落橋防止装置等の設計にあたっては、(一社) 建設コンサルタンツ協会あて文書「落橋防止装置等の溶接不良の再発防止に関して (要請書)」(平成 27 年 12 月 25 日付) に基づき、溶接種別を明示及び設計を合理的に実施すること。

## 2-3-11 橋梁耐震補強設計 施工計画

施工計画とは、現地踏査の結果を基に、次に示す橋梁の耐震補強工事に関する施工計画を立案することをいう。なお、施工計画を検討する上で測量が必要となる場合は、別途監督員と協議する。関係機関との協議等により検討の内容が変更となる場合の費用については、別途監督員と協議する。

施工計画の検測数量は、一橋とする。

橋梁名	地形条件	計画の複雑化	数量	内訳書の項目
川口東高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
安行西高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
浦和東京線橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
新善高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
草加 B P 橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
草加高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
旭町高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
中根高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A
青柳高架橋 (上下線)	市街地	複雑	1	施工計画 A

## 2-3-12 橋梁耐震補強設計 設計打合せ

(1) 業務着手時、業務内容確認検査及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。

- (2) 打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 関東支社で行うものとする、  
ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- (3) 打合せ回数は業務内容確認検査、工事発注前打合せを含め、9回とする。そのうち1回は発注者、  
受注者合同の現地踏査を行うものとする。なお、打合せ回数の増減に伴う費用は、別途監督員と  
協議することとする。
- (4) 工事発注前打合せとは、履行期間内に設計図面、適用する標準図集、設計数量計算書、材料一覧  
表、工法選定検討資料等を用いて、設計成果の確認を行うものをいう。
- (5) 設計打合せの検測数量は、一式とする。

### 2-3-13 既存図面電子化

既存図面電子化とは、既存の手書き図面（TIFF）を電子化（CADデータ化）することをいう。  
既存図面電子化の検測数量は、一枚とする。

橋梁名	図面名	数量 (枚)	備 考
川口東高架橋	橋梁一般図	3	
	下部工構造一般図	48	
安行西高架橋	橋梁一般図	5	
	下部工構造一般図	24	
赤芝新田高架橋	橋梁一般図	4	P29 は川口東に計上
	下部工構造一般図	44	
浦和東京線橋	橋梁一般図	2	
	下部工構造一般図	24	
安行東高架橋	橋梁一般図	3	
	下部工構造一般図	36	
新善高架橋	橋梁一般図	6	
	下部工構造一般図	40	
草加BP橋	橋梁一般図	3	
	下部工構造一般図	26	
草加高架橋	橋梁一般図	5	P109 は草加BP 橋に計上
	下部工構造一般図	52	
旭町高架橋	橋梁一般図	3	
	下部工構造一般図	16	
中根高架橋	橋梁一般図	5	P143 は草加BP 橋に計上
	下部工構造一般図	46	
青柳高架橋	橋梁一般図	7	
	下部工構造一般図	24	
合計		426	

### 2-3-14 直接経費

電算機使用料とは、既設橋梁動的解析および耐震補強動的解析(レベル2地震動)、の電算機使用料を  
いう。

### 2-3-15 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、設計打合せに必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。なお、  
設計項目及び数量が増減しても、交通費・日当・宿泊費の変更は行わないものとする。

WEB方式にて実施する場合の完了検査の交通費・日当・宿泊費の費用は計上しないものとする。

なお、協議により完了検査がWEB方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

## 2-3-16 成果品

### 【提出部数】

成果品の提出部数については、共通仕様書1-45-5によらず下表のとおりとする。

工事発注時貸与用電子データとは、報告書及び図面の電子データに対して、個人情報や概算工事金額などの当該工事発注等に関係しない非公表等の情報を編纂又はマスキングを行って電子媒体を作成するものである。工事発注時貸与用電子データの作成にあたり、編纂又はマスキングの対象箇所は監督員と協議するものとする。

項目	監督員	NEXCO総研	工事発注時 貸与用電子データ	備考
報告書（紙）	1部	—	—	
報告書（電子データ）	2部	1部	1部	
図面（紙）	1部	—	—	
図面（電子データ）	2部	1部	1部	報告書（電子データ） と併せて提出

## 2-3-17 成果品一覧表

成果品は、本特記仕様書2-3-16の規定によるものとし、その一覧は下表のとおりとする。  
また、報告書の表紙は、黒色とし、金文字製本とする。

設計種別	成果品項目	出力時の縮尺 (分の1)	出力用紙 の大きさ	尺度	提出 部数	摘要
	橋梁位置図	50,000～125,000	A3	原寸	1	
	一般図	500、1,250	A3	原寸	1	
詳細設計	共通仕様書5-7-4 (4)による図面	共通仕様書5-7-7 詳細設計による	A3	原寸	1	線形図 を除く
	設計計算書	—	A4		1	製本
	材料計算書	—	A4		1	製本
	計画概要書	—	A4		1	製本
	施工計画書	—	A4		1	製本
既存図面 電子化	橋梁一般図 下部工構造一般図	共通仕様書5-7-7 詳細設計による	A3	原寸		

## 第3章 補足事項

### 3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

- (1) 既設橋梁動的解析の結果に基づき必要と判断された場合、上部工補強設計等の設計業務を追加する場合がある。
- (2) 2-2-1の比較表作成の結果を踏まえて、2-2-2の対象橋梁を変更追加する場合がある。
- (3) 2-2-2の比較表作成の結果を踏まえ、2-2-2で計算した上部工及び付属物を軽量化した条件で2-2-3上部工改良設計を実施する場合がある。
- (4) 関係機関の協議や現地踏査の結果に基づく耐震補強設計（基礎、フーチング一体の擁壁、

函渠構造を除く）、仮設構造物設計を追加する場合がある。

- (5) 施工に伴い不要または、支障となる排水管、既設検査路及び通信管路等の撤去、移設、再設置に必要な図面作成及び数量算出を追加する場合がある。
- (6) 添架物の移設、埋設物の移設等、関係機関との協議に必要な設計協議図面作成等を追加する場合がある。
- (7) 現地の損傷状況に応じた補修設計を追加する場合がある。  
なお、これらに関わる費用は別途監督員と受注者で協議して定めるものとする。
- (8) 地覆の撤去・防護柵設計を追加する可能性がある。
- (9) 上部工改良設計の施工のために必要な施工及び規制計画について設計協議用図面作成を追加する予定がある。
- (10) 2－2－3 上部工改良設計にて計画設計を行う橋梁（連）は基本設計を追加する予定がある。
- (11) 川口東高架橋 P 1 2 から P 1 6 橋脚の復元設計を追加する場合がある。